

【带状疱疹】

水痘・带状疱疹ヘルペスウイルスの感染症である带状疱疹の治療を行います。带状疱疹とは、水痘(水いぼ)ウイルスの再活性化により発症する疾患です。このウイルスは、普段は人間の免疫力で神経節という神経の集まっている個所に閉じ込められており、悪さをしません。しかし、免疫力が弱まると、神経を伝って、神経に炎症を起こしながら皮膚へ出てきます。皮膚では最初は筋肉痛のような痛みが生じ、その後帯状の範囲に赤い皮疹や水疱が出現してくることが典型的な症状です。

治療は、7日間の抗ウイルス剤の点滴です。1日3回、1回1時間以上かけて点滴することにより最大の治療効果を発揮します。また、带状疱疹はウイルスによる神経障害から神経痛を来しやすい疾患であるため、内服薬による疼痛対策も行います。患者さんの年齢、腎臓機能により抗ウイルス剤や鎮痛剤の投与量を調整し、採血検査で腎臓機能等副作用の出現を管理しながら治療を行います。また、抗ウイルス剤には意識障害などを引き起こす脳症という副作用も報告があります。そのような副作用が発現した際には、速やかに適切な対応を取らせていただきます。毎年、当科では70～100名の带状疱疹の患者さんが入院されています。2016年度は約80名の患者さんに、本クリニックバスを用いた治療を行いました。

皮膚科

带状疱疹で入院される患者さんへ

患者さん用

お名前:

主治医:

担当看護師:

日付	/	/	/	/	/	/	/	/
イベント	入院当日	入院2日目	入院3日目	入院4日目	入院5日目	入院6日目	入院7日目	退院
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 痛みが軽減される。 安静を守ることができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 痛みの軽減により安静の解除ができる。 傷の処置が出来る。 		<ul style="list-style-type: none"> 抗ウイルス剤の点滴が終了する。 		<ul style="list-style-type: none"> 退院後の生活について理解できる。
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 点滴があります。 皮膚の状態にあわせて軟膏処置があります。 痛みに対して、鎮痛剤を使用します。 							
検査				<ul style="list-style-type: none"> 採血 採尿 				
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> トイレ以外はベッド上安静です。 			<ul style="list-style-type: none"> 病棟内を自由に歩行できます。 		<ul style="list-style-type: none"> 病院内を自由に歩行できます。 		
食事	<ul style="list-style-type: none"> 治療食以外の方は制限はありません。 							
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が身体を拭くお手伝いをします。 			<ul style="list-style-type: none"> シャワーを浴びることができます。 				
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 歩いてトイレに行けます。 							
患者さん及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> 内服している薬を確認します。 			<ul style="list-style-type: none"> 処置についての説明があります。 		<ul style="list-style-type: none"> 退院後の処置の方法と注意事項について説明があります。 次回外来受診の説明があります。 		

ご質問やご不明な点がございましたら、医師または看護師にお伝えください。予定は、お身体の状態や検査の状況で変更となる場合がございますので、ご了承ください。

東邦大学医療センター 大森病院
作成日:平成29年7月21日